

- ▶新規継続事業について (2~3面)
- ▶公募、行事予定 (2面)
- ▶2020年度教職員就職支援状況 (3面)
- ▶キリスト教教育者物語 (〃)
- ▶加盟校動静 (〃)
- ▶教育同盟史資料整理状況 (4面)
- ▶キリスト教Q&A (〃)

# キリスト教学校教育 5

2020・2021年度教研テーマ  
キリスト教学校の使命と可能性—いのちの尊さと平和を求めて—

(一社)キリスト教学校教育同盟  
〒169-0051  
東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館72号室  
電話 03(6233)8225  
FAX 03(6233)8226  
理事長 西原 廉太  
編集人 田村 浩一  
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)  
(毎月1回15日発行)

## 第65回事務職員夏期学校

主題「キリスト教学校で事務職員として働くとは？」  
7月17日(土)オンラインで開催

校長・舟木、主題・鈴木、特別・横山各氏  
講演・鈴木、牧師・五十嵐、特別・横山各氏

第65回事務職員夏期学校・事務局長宛に案内書と申込用紙を近日中に送付、申込締切は6月25日(土)にオンラインで行う(第1セッション10時、第2セッション13時、15時)。

主題は「キリスト教学校で事務職員として働くとは？」で、校長に舟木、主眼講演講師に鈴木、特別講演に横山、見氏、特別講師は横山大輔氏が就任する。

教育同盟事務局より各、学校法人理事長・事務局等学校卒業後、フリーター



舟木 譲氏



鈴木 契氏



五十嵐成見氏



横山大輔氏

特別講義

一般社団法人キリスト教学校教育同盟  
2021年度「キリスト教学校教育振興助成」の募集について

キリスト教学校教育を推進する研修・研究等への助成制度です。要項・申請書等詳細は教育同盟ホームページ(トップページ「お知らせ」)をご覧ください。

助成金 総額300万円  
助成先選考日程(予定)  
4月5日(月) 募集開始  
6月12日(土) 締め切り  
7月6日(火) 助成先発表

建学の精神に基づいた学校教育のために、私たちはそれぞれの自校の創設者の生き様と志を幾度となく確認してきたのだと思う。それは同時に、信仰の創始者であり完成者であるキリストの志に立ち返る私たちであろうとする努力でもあったのではないだろうか。

キリスト教学校は、社会状況がどのように変化しても、神のことが心の指針となるように、種まきをする。コロナ禍において病や死に近い日常を歩む今は、キリストに倣った先人たちの志を、生きた財産としてまきを受け取りなおすべきときではないかと思う。

第一は神への信仰である。自己が現代の孤独を象徴している。しかし私たちは、信頼できる生きた存在に触れる機会を祈りという日常から学ぶことができる。生きたる力を失いかけていく。

第二に事に対する希望である。かつて先人たちが希

### 創始者の志を掲げて



安藤 理恵子

望を掲げて一歩を踏み出したとき、多くの場合そこにあったのは展望の見えない貧しさであった。しかし彼らは困難な現実に向かう力の源を、礼拝を通して見出し、何をなすかという問いに光を生み出す方に希望を置き、自分のなすべきことに従事し続けた。そしてその先に、神の答えがあった。

祈りが応えられるという体験の原点に創設者たちは立っていた。沿革において彼らが証言している希望と同じものを、私たちも学び始めるべきではないだろうか。

望を掲げて一歩を踏み出したとき、多くの場合そこにあったのは展望の見えない貧しさであった。しかし彼らは困難な現実に向かう力の源を、礼拝を通して見出し、何をなすかという問いに光を生み出す方に希望を置き、自分のなすべきことに従事し続けた。そしてその先に、神の答えがあった。

祈りが応えられるという体験の原点に創設者たちは立っていた。沿革において彼らが証言している希望と同じものを、私たちも学び始めるべきではないだろうか。

そしてなによりもこの時代がキリスト教学校に期待しているのは、愛の体現である。不安を抱えて生きている大人たちの迷いは、子どもたちにも伝染し共有されている。一人一人の存在が神に愛され、生きていくことにおいて行いにおいて一致した表現として繰り返したい。そんな願いが私たちの心のうめきなのではないだろうか。この心を治めることができるものは、キリストの十字架に示された神の愛以外にはない。この愛に出会い、突き動かされることを通してのみ、私たちは愛の担い手の一人としてキリスト教学校の本来の使命の一角に立つことができるのではないだろうか。

- 実行委員  
委員長 佐々木潤(青山学院)、副委員長 松田千津子(東北学院)、委員 青木俊介(桜美林学園)、梁取瞳(立教学院)、山田園子(捜真学院)、竹森宏和(同志社)、大田詠子(関西学院)、山本淳之(西南女学院)
- ※加盟校動静は3面に掲載しています。

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。…人々は驚き怪しんで言った。『話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。…彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。』…しかし、『あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ』と言って、あざける者もいた」(使徒言行録2章1節~13節)

ビックリするような出来事が起きました。語られている言葉が、だれもかれも、自分の故郷の言葉で聞き取れた、ということです。グローバルと言われる今の時代に重宝しそうな、まるで瞬間多言語一斉翻訳機のような。聖霊の働き、力によって、ペトロをはじめ使徒たちが福音宣教を始めた聖霊降臨日、ペンテコステの出来事です。ペンテコステとはギリシャ語で50番目を意味します。ユダヤ教の過越祭の50日後、イエスの復活から50日、教会の誕生日ともいわれます。

この出来事、何が語られたのでしょうか。ナザレのイエスこそ神から遣わされた方であり、このイエスによって救いがもたらされるという「神の偉大な業」が語られた

### 聖書のことは



おざきともゆき 小崎智通

のです。ところが、語られているのが「神の偉大な業」であると受けとめるものもあれば、語っている者が「ぶどう酒に酔っている」とあざける者もいた、と記されています。

ペトロはそのような人たちに「わたしの言葉に耳を傾けてください。この人たちは酒に酔っているのではありません。預言者ヨエルを通して言われていることの成就なのです。」と告げています。

同じメッセージが語られているのに、です。真理が語られても、それを真理として受けとめられるかどうか肝心です。一人一人の上に、すべての人に霊が注がれ、そして一人一人に語られる。その語られている言葉にどれだけ耳を傾けられるか、一人一人の心のあり様が問われています。

コロナ禍で集まることも難しく、豊かに讃美歌を歌うこともままならない状況ですが、学校での日々の礼拝もはなから寝る時間、と決めてかかっている生徒もいれば、宝物が散りばめられている、と顔を上げて過ごす者もいます。やがて大きな実りとして還ってきます。でも礼拝でふてくされている生徒も実は心に病み・闇を抱えているかもしれません。私たちが心を傾け、その生徒の心に傾聴できるか、生徒の人生に敬意をもって敬聴できるか、問い直す機会ともしたいと思います。

〈啓明学院中学校・高等学校宗教主事〉



# eラーニングによる 教員免許状 更新講習について

本講習はキリスト教教育で、支える生活臨床の校のより良い理解のため睡眠を中心とした生活の一般社団法人キリスト教教育同盟が開講する教員免許状更新講習である。受講を機会に加盟校の教員ならびにキリスト教教育に携わる教員が、近年のキリスト教教育や児童・生徒を取り巻く状況の変化について理解を深め、建学の理念の担い手であるために必要な知識と資質能力を身に付けることにより、後のキリスト教学校教育に資することを旨とする。

申込みから修了確認まですべてオンラインで、講習は期間中いつでも受講でき、自分のペースで中断・再開・反復が可能である。講習は①必修領域(6時間以上)②選択必修領域(6時間以上)③選択必修領域(18時間以上)を併せて30時間以上受講・修了する必要がある。

このうち、教育同盟が提供する講習は選択必修領域「子どもの発達と理解」と「キリスト教教育の存在意義」との2領域を立基盤とする。このうち、教育同盟が提供する講習は選択必修領域「子どもの発達と理解」と「キリスト教教育の存在意義」との2領域を立基盤とする。このうち、教育同盟が提供する講習は選択必修領域「子どもの発達と理解」と「キリスト教教育の存在意義」との2領域を立基盤とする。

## 受講者の声

「あれ、今年度は免許更新講習に感動の涙が、あいにこのコロナ禍の中「今年度の実施は見合わせます」との大学が多、受講のために遠

方まで行くこともできず、困りました。そんな話では、思わず途中で泣き、聖書の先生の勧めを受けてしまいました。受講で、キリスト教学校教育を学んでいる方はぜひ受けてください。講習は、キリスト教学校教育の理解と実践の4講座計24時間で、受講を機会に加盟校の教員ならびにキリスト教教育に携わる教員が、近年のキリスト教教育や児童・生徒を取り巻く状況の変化について理解を深め、建学の理念の担い手であるために必要な知識と資質能力を身に付けることにより、後のキリスト教学校教育に資することを旨とする。

「あれ、今年度は免許更新講習に感動の涙が、あいにこのコロナ禍の中「今年度の実施は見合わせます」との大学が多、受講のために遠

「あれ、今年度は免許更新講習に感動の涙が、あいにこのコロナ禍の中「今年度の実施は見合わせます」との大学が多、受講のために遠

## 加盟校動静

### 2020年度教職員就職支援状況報告

20年度(19年度32名)、加盟校への就職決定報告者は5名(19年度7名)で、公募件数(本紙およびホームページ)は、延べ365件(19年度386件)であった。

### 新年度動静

(4月20日までに文書での報告分。前年度未掲載も含む。敬称略)

- 共愛学園前橋国際大学短期大学部 学長 大森昭生
- 市昭和田町3-7-27A027-231-8236
- 長崎ウエスレヤン大学 鎮西学院大学
- 松山城南高等学校 松山学院高等学校
- プルル学院短期大学
- 北星学園 事務局長 山本一博
- 遺愛学院 事務局長 辻村昌彦
- 酪農学園 大学学長 堂地修弘
- 弘前学院 大学学長 藁科勝之
- 宮城学院 中学校・高等学校学長 平林健
- 東北学院 大学学長 藤ヶ岡高等学校学長 河本和文
- 山形学院 高等学校学長 石川学
- 新島学園 事務局長 萩原裕子
- 聖望学園 事務局長 高瀬恵治(20年7月1日付)
- 三育学院 理事長 稲田豊、院長 (三原キャンパス) 島田真澄、広島三育学院中学校・高等学校学長 大和小学校学長 北林聡、沖繩三育中学校・小学校学長 増田敦、横浜三育小学校学長 小原義信、広島三育学院小学校学長 落合均
- 東京キリスト教学園 理事長 朝岡勝
- 青山学院 中等部部长 上野亮
- 普通士学園 事務局長 原田美代子
- 自由学園 最高学部部长 高橋和也、男子部中等科学長 佐藤史伸、女子部中等科学長 史科幸一
- 啓明学園 初等学校学長 佐川康博
- 香蘭女学校 理事長 棟近稔(20年7月1日付)
- 明治学院 事務局長 榎田健一
- 日本聾話学校 理事長 梅津順一、事務局長 大森幹之
- 桜美林学園 理事長 小池一夫、法人本部長 後藤彰寛
- 立教学院 理事長 戸井田和彦(20年9月25日付)、立教大学学長 西原廉太、立教小学校学長 田代正行
- 立教女学院 理事長 大澤真木子、小学校学長 児玉純
- 聖学院 事務局長 安藤守、中学校・高等学校学長 伊藤大輔
- 聖路加国際大学 理事長 佐々木新一
- 東京女子大学 事務局長 安藤由起美(20年12月1日付)
- 東京神学大学 理事長 近藤勝彦(20年6月1日付)
- 東洋英和女学院 院長 増淵稔(20年11月1日付、理事長兼任)
- 平和学園 事務局長 小川厚史(20年10月1日付)、小学校学長 橋本明子
- 和泉短期大学 理事長 伊藤忠彦(20年6月15日付)
- 関東学院 理事長 規矩大義 事務局長 小松原光裕、大学学長 小山巖也、中学校学長 森田祐二、六浦小学校学長 松田和憲(学院長兼任)
- 聖ステパノ学園 事務局長 佐藤雅美
- 横浜英和学院 事務局長 立花慎一
- 横浜共立学園 事務局長 西山剛博
- 敬和学園 高等学校学長 小田中肇
- 山梨英和学院 山梨英和大学学長 朴憲郁(院長兼任)
- 清水国際学園 理事長 平等民雄
- 金城学院 学院長 小室尚子(大学学長兼任)
- 名古屋学院 学院長 横山良樹
- 名古屋学院大学 事務局長 山田隆
- 愛農学園 農業高等学校学長 村上守行
- ヴォーリス学園 事務局長 山崎直(21年1月1日付)
- 同志社 女子中学校・高等学校学長 中村久美子
- 梅花学園 梅花中学校・高等学校学長 六室匡司
- 桃山学院 教育大学学長 中西正人
- 大阪女学院 中学校・高等学校学長 丹羽明
- プール学院 理事長 磯崎久、中学校学長 高野誠、安福明日ノ本学園
- 姫路日ノ本短期大学学長 勝木洋子(20年11月1日付)
- 関西学院 理事長 村上平一、事務局長 藤田忠弘、千里国際中等部・高等学校学長 萩原伸郎
- 神戸女学院 大学学長 中野敬一
- 頌栄保育学院 事務局長 東弘彦
- 八代学院 神戸国際大学附属高等学校学長 杉之内裕
- 広島女学院 院長 大学学長 三谷高康、事務局長 海田智浩
- 山形学院 事務局長 山内司
- 福岡女学院 院長 阿久戸光晴、大学学長 伊藤文一、中学校学長 重枝一郎
- 西南学院 大学学長 浅野嘉延
- 鎮西学院 大学学長 姜尚中
- 長崎学院 長崎外国語大学学長 姫野順一

## キリスト教教育者物語

## ユリシーズ・グランド・モルフィ

(1869~1967)

### 名古屋学院

82



モルフィは1893年(明治26年)に名古屋英和学校(現在の名古屋学院)に赴任して、15年間日本に滞在した。学校では宗教・英語・音楽を教える温厚な教師であった。

1899年(明治32年)旭郭の松坂楼で働いていた「小六」(本名・佐野ふで)が矢場町の名古屋美普教会にモルフィを頼って逃げ込んできた。小六の自由廃業を実現させ、遊郭解放運動の筋道を築きたいと彼の信仰心は燃え上がった。名古屋地裁で裁判に勝訴。全国で初めて自由廃業が認められた。しかし遊郭事業主たちの反対にあい小六は訴訟を取り下げてしまった。1900年(明治33年)英和学校を退職。瓦町の伝道所と長島町の名古屋第一美普教会の専任牧師になり、廃娼運動を本格化させていった。彼の奮闘ぶりは新聞紙上にぎわした。遊郭業者に雇われた暴力団との乱闘事件にも発展するが、彼は怯むことがなかった。

愛知県下のキリスト教徒は「煽風会」を組織し、救世軍の山室重平も立ち上がった。日本全国に遊女の自由廃業が広まっていった。やがてモルフィは「廃娼運動の父」とたたえられた。廃娼運動によって自由を得た女性には明治42年までに2,556名に達した。

1908年(明治41年)帰米。その後はアメリカ西海岸諸州で牧師として活躍。日系人子弟の教育や第二次大戦後に日本駐留米兵と日本人女性との間に生まれた孤児の養育活動に尽力した。1967年(昭和42年)98才で祝福の中、天に召された。

名古屋学院 名古屋中学校・高等学校 学校長 大数博康

# 教育同盟史資料整理の状況

昨年創立110年を迎えた教育同盟は、現在の西早稲田に事務局を移して既に50年経過している。事務局内に所蔵されている資料は膨大で、時



写真1・従来の保存状態

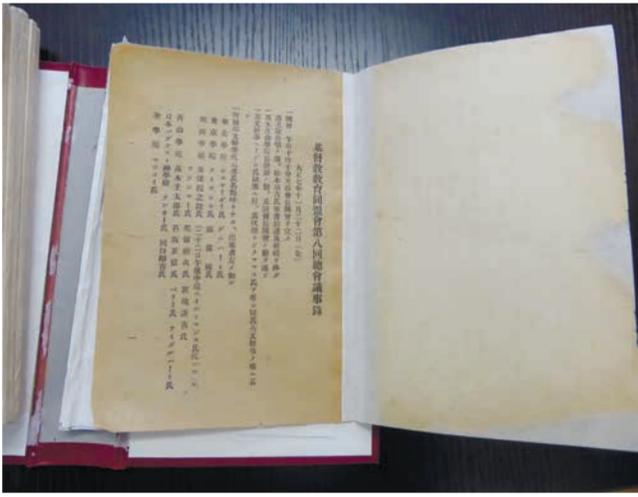


写真2・補修された『第八回総会記録』

代の様子を知る貴重な内容が多く含まれている。現在事務局内の資料整理を進めていることは、2020年10月発行の本紙737・738合併号でも

多くの資料は封筒ないしは包み紙に入れて積んであるだけの状態であった(写真1)。また、多数の在庫がそのまま残っている印刷物も多く、どこに何があるのかも把握できていない状況であった。昨年度より計画的に事務局内の資料整理を進めており、所蔵資料リストの作成をほぼ終えて、史料の全体像を把握できるようになった。資料点数としては3500点余りである。ここにしかないオリジナルな資料も多数あり、貴重資料をどのように保管するかが課題となった。そこで、2020年11月からは資料保管に関する専門家に週一回来ていただき、保管作業を進めている。

まず一部資料について、脱酸処理と傷みの激しい資料の補修を実施した。出版物をはじめ、一般に使われていた紙は酸性紙だったため、年を経るとともに酸化が進み、紙質が劣化していく傾向にある。教育同盟所蔵の資料や書籍については今回1960年代頃までのものを中心に、脱酸処理を施した。それにより、紙質が中性化し、手触りも以前よりはしなやかになり、紙資料としての延



写真3・資料保存箱による保管



写真4・加盟学校名簿の製本

命措置をすることができた。例えば、教育同盟に保管されている最古の資料の一つである『第八回総会記録』(1918年・大正7年)や『第九回総会記録』(1919年・大正8年)は傷みが激しく表紙が破損するなど、とても現状では閲覧するのが難しい状態だったが、今回職人の手により和紙を貼って綺麗に製本してもらえた(写真2)。また、今回脱酸処理を施せなかった資料については、中性紙によって作られた資料保存箱へと移し(写真3)、劣化を遅らせるようにした。定期的に発行されている印刷物の製本も行っている。加盟学校名簿は今新たに1999年から昨年度までのものを製本し(写真4)、これで1948年度から2020年度までのものが分冊で合本化された。戦後の教育同盟加盟校の推移を来はば月刊で発行され続けている。教育同盟の活動を概観できる基礎資料の一つであるので、この度製本されたこと、非常に見やすくなった。新聞も製本化されていないこと、教育同盟の近年までの歩みを容易に見返すことができる。

直人 仕直人  
《明治学院歴史資料館研究員、前「キリスト教学校教育同盟百年史」編纂委員》

事務局長より  
目に鮮やかな新緑は命の輝きと喜びを感じさせます。しかしコロナ禍は長期化し、変異株感染の

## キリスト教Q&A

—キリスト教の理解を深めるために—

上野 峻一

(明治学院高等学校聖書科教諭)

### 「神さま」がいるなら、なぜ争いや戦争がなくなるのですか？

A: きっと、それは私たちがいるからです。

数年前、聖書の授業を担当したばかりの頃、よく生徒たちから言われたのは、「聖書の先生なのに…」というフレーズでした。

ある時、創世記第4章の「カインとアベル」をわかりやすく伝えるため、私自身が10代の頃の話をしました。それは自分も弟を羨ましく思って大喧嘩をした挙げ句、弟がケガをして病院に運ばれたという趣旨の話でした。ところが、翌週には「聖書の先生なのに、上野は弟を殺した」となっていました。こちらの伝え方が悪かったかもしれませんが、しかし、私たちは聖書を教える教師やクリスチャン、「神さま」に対して、そもそも何かしらのイメージや先入観があります。

詩編第103編をもとにした『主は良いお方』(長沢崇史氏)という賛美があります。ステキな賛美歌です。主なる神さまが「長らえる限り良いものに満ち足らせ」てくださる方であることに間違いはありません。けれども、その「良さ」に対して、私たち自身はどうでしょうか。

聖書の人間理解は、罪ある存在です。もちろん、創世記第1章には、神に似せて造られた人間を含めて、神さまが創造された世界をご覧になっ

て「極めて良かった」と言われます。けれども、神に造られた人間が、神に背いて罪を犯してしまうのです。人間を造った「神さまのせい？」とも考えられますが、神は愛ゆえに人間に自由意志を与えられます。

歴史を学び、宗教と戦争との結びつきを学んだ者にとっては、神との関わりにおいて、「なぜ争いがなくなるのか」と問いたたきたくありません。確かに、自己肯定感の低い若者の心を守ることが大事です。自分が愛されていることに気づけず、罪を見つめられるほど強くない若い世代です。しかし、特に青年期などは、安易な全面肯定は、かえって相手を苦しめることがあります。自分自身の罪深さに気づいているからです。だからこそ、罪から救われる主の「良さ」が重要です。

この問いは、「平和を実現する人々は幸いである」という主イエスの山上の説教の御言葉と響き合います。罪人であるが、そこから救われ、平和をつくる者としての存在が、この世界に求められているからです。罪ある人間の姿と真剣に向き合いつつも、神の「良さ」に信頼し、平和を実現する人々を世に送り出します。その使命がキリスト教学校にあります。

### 読後「書き込みひろば」

読者の皆さんが感じたことを自由に書き込んでいただける寄せ書きの場です。より良い本紙作りの参考にもさせていただきます。https://tinyurl.com/rj8z6u2yか下記QRコードにアクセスしてください(書き込み可能は5月31日まで)。

